

平成 31 年 3 月 12 日	
記 者 発 表	
担当課	企画総務課
電 話	073-441-2337



東京大学 先端科学技術研究センター
Research Center for Advanced Science and Technology
The University of Tokyo

和歌山県と国立大学法人東京大学先端科学技術研究センターが 包括連携協定を締結します!!

この度、和歌山県と国立大学法人東京大学先端科学技術研究センターは、学術の振興、人材の育成、和歌山県における産業の発展及び地域の活性化に資することを目的に、包括連携協定を締結します。

1. 協定締結式

〈日 時〉平成 31 年 3 月 15 日（金）13:00~13:30

〈場 所〉和歌山県庁 知事室

〈調 印 者〉国立大学法人東京大学先端科学技術研究センター所長 神崎 亮平
和歌山県知事 仁坂 吉伸

2. 協定に基づく連携内容

- ①和歌山県における産業イノベーション創出支援
(県内企業との共同研究・技術移転、和歌山をフィールドとした研究開発プロジェクトなど)
- ②地域特性を生かしたまちづくり・地域づくり
(風力発電関連産業の集積などを通じた持続可能な地域づくりなど)
- ③教育開発・人材育成
(次世代を担う突出した才能の発掘・育成、きのくに ICT 教育のさらなる充実、特別授業、職員の人材交流など)
- ④その他、本協定の目的を達成するために必要と認める事項

当日、取材・撮影を希望される場合は、3月14日（木）までに和歌山県企画総務課へご連絡ください。

〈お問い合わせ先〉和歌山県企画部企画政策局企画総務課 安川・蓬臺 073-441-2337

東京大学 先端科学技術研究センターについて

2017年に発足30周年を迎えた先端科学技術研究センター（略称：先端研）は、「科学と技術のハーモニーで人と社会をつなぎ、未来を形にする」ことを使命としています。

最大の特徴は研究者や研究分野の多様性にあり、40にのぼる専門分野・部門名を冠した研究室が、理工系の先端研究から社会科学やバリアフリーという未来の社会システムに関わる研究まで、基礎から応用に至る多様な研究を積極的に推進しています。

また、東大附置研で唯一博士後期課程を有し、イノベーションを生み出す力を持った人材育成に取り組むとともに、企業研究者の再教育も積極的に行っています。

神崎亮平所長 プロフィール

東京大学先端科学技術研究センター所長。

専門は神経行動学。カイコガのフェロモン源探索行動の研究や、昆虫制御型ロボット（サイボーグ昆虫）、スーパーコンピュータによる大規模脳シミュレーションなどで知られる世界的な生物学者。

〈出身〉和歌山県高野口町（現・橋本市）

〈経歴〉

智辯学園高等学校を卒業後、1986年筑波大学大学院生物科学研究科博士課程を修了。アリゾナ大学神経生物学研究所博士研究員、筑波大学生物科学系助手、講師、助教授を経て、2003年同大学教授。2004年より東京大学大学院情報理工学系研究科教授、2006年より東京大学先端科学技術研究センター教授。2016年より東京大学先端科学技術研究センター所長。2019年ミラノ＝ビッコカ大学名誉学位。

〈受賞〉

日本比較生理生化学会学会賞、日本ロボット学会論文賞、日本神経回路学会最優秀研究賞、JSPS ひらめき☆ときめきサイエンス推進賞、橋本市文化賞など多数。

